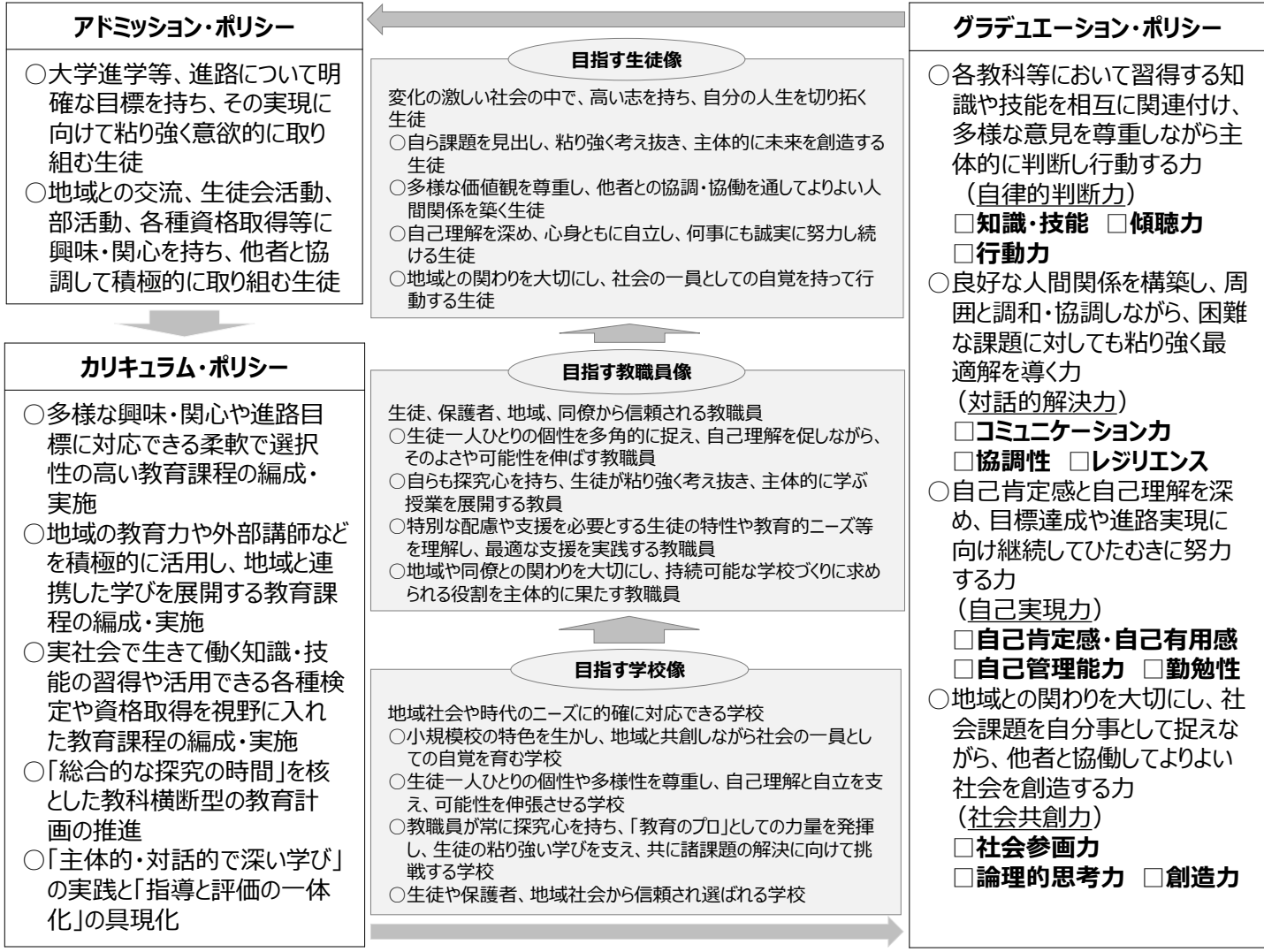


日本国憲法 教育基本法 学習指導要領 北海道教育推進計画ほか	学校教育目標 (1) 基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け確かな学力を育む (2) 誠実な態度と勤労を尊び思いやりのある豊かな心を育む (3) 心身とも調和のとれた健やかな体を育む	校訓 継続は力なり
---	---	-------------------------

スクール・ミッション	校訓「継続は力なり」のもと、教育活動全般を通して社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付け、自分らしい生き方を実現する生徒の育成
-------------------	--



■ 令和8年度の重点目標等 ■

領域	中期目標	今年度の重点目標
【学習指導】	新しい時代に必要となる資質・能力の育成	○探究のプロセスを意識した学習活動の充実 ○教科等の枠を越え、資質・能力を横断的に育成する校内体制の構築
【生徒指導】	自他を尊重する共感的な人間関係の育成	○自律的な生活習慣の確立 ○発達支持的生徒指導の充実
【進路指導】	自らの目標達成に向けて意欲的に取り組むキャリア選択能力の育成	○組織的・計画的・系統的なキャリア教育の推進 ○生徒の自己理解に基づく進路実現の支援
【健康・安全指導】	心身の健康増進と安全意識の育成	○生命の尊厳を守り、心身ともに自律した生徒の育成 ○個々の特性に応じた特別支援教育の推進

目指す学校像	目指す生徒像	目指す教職員像
地域社会や時代のニーズに的確に対応できる学校	変化の激しい社会の中で自分らしい生き方を実現する生徒	生徒、保護者、地域、同僚から信頼される教職員
<ul style="list-style-type: none"> ○小規模校の特色を生かし、地域と共創しながら社会の一員としての自覚を育む学校 ○生徒一人ひとりの個性や多様性を尊重し、自己理解と自立を支え、可能性を伸張させる学校 ○教職員が常に探究心を持ち、「教育のプロ」としての力量を発揮し、生徒の粘り強い学びを支え、共に諸課題の解決に向けて挑戦する学校 ○生徒や保護者、地域社会から信頼され選ばれる学校 	<ul style="list-style-type: none"> ○自ら課題を見出し、粘り強く考え抜き、主体的に未来を創造する生徒 ○多様な価値観を尊重し、他者との協調・協働を通してよりよい人間関係を築く生徒 ○自己理解を深め、心身ともに自立し、何事にも誠実に努力し続ける生徒 ○地域との関わりを大切にし、社会の一員としての自覚を持って行動する生徒 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒一人ひとりの個性を多角的に捉え、自己理解を促しながら、そのよさや可能性を伸ばす教職員 ○自らも探究心を持ち、生徒が粘り強く考え抜き、主体的に学ぶ授業を展開する教員 ○特別な配慮や支援を必要とする生徒の特性や教育的ニーズ等を理解し、最適な支援を実践する教職員 ○地域や同僚との関わりを大切にし、持続可能な学校づくりに求められる役割を主体的に果たす教職員

【育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）】

- 各教科等において習得する知識や技能を相互に関連付け、多様な意見を尊重しながら主体的に判断し行動する力（自律的判断力） 知識・技能 傾聴力 行動力
- 良好な人間関係を構築し、周囲と調和・協調しながら、困難な課題に対しても粘り強く最適解を導く力（対話的解決力） コミュニケーション力 協調性 レジリエンス
- 自己肯定感と自己理解を深め、目標達成や進路実現に向け継続してひたむきに努力する力（自己実現力） 自己肯定感・自己有用感 自己管理能力 勤勉性
- 地域との関わりを大切に、社会課題を自分事として捉えながら、他者と協働してよりよい社会を創造する力（社会共創力） 社会参画力 論理的思考力 創造力

【教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）】

- 多様な興味・関心や進路目標に対応できる柔軟で選択性の高い教育課程の編成・実施
- 地域の教育力や外部講師などを積極的に活用し、地域と連携した学びを展開する教育課程の編成・実施
- 実社会で生きて働く知識・技能の習得や活用できる各種検定や資格取得を視野に入れた教育課程の編成・実施
- 「総合的な探究の時間」を核とした教科横断型の教育計画の推進
- 「主体的・対話的で深い学び」の実践と「指導と評価の一体化」の具現化

【入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）】

- 大学進学等、進路について明確な目標を持ち、その実現に向けて粘り強く意欲的に取り組む生徒
- 地域との交流、生徒会活動、部活動、各種資格取得等に興味・関心を持ち、他者と協調して積極的に取り組む生徒

領域	対象	中期目標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
教育活動	学習指導	新しい時代に必要となる資質・能力の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 探究のプロセスを意識した学習活動の充実 2 教科等の枠を越え、資質・能力を横断的に育成する校内体制の構築 3 ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」、「協働的な学び」の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒が自ら課題を見出し、粘り強く探究するプロセスを各教科・科目の授業で実践するとともに、学習評価の充実が図れたか 2 「目指す生徒像」の達成に向け、各教科・科目が連携した組織的な指導・評価が行われたか 3 ICT機器（環境）を活用した個に応じたきめ細かい学習指導が図れたか
	生徒指導	自他を尊重する共感的な人間関係の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 自律的な生活習慣の確立 2 発達支持的生徒指導の充実 3 自己肯定感・自己有用感の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 挨拶や言葉遣い、身だしなみやネットマナー等の指導により、生徒の自らを律する態度と社会の一員としての自覚を高めることができたか 2 生徒一人一人の情報が全教職員間で共有され、統一した生徒指導・生徒支援ができたか 3 SC、SSW、関係機関（専門機関）等と連携して困り感を持つ生徒への支援ができたか
	進路指導	自らの目標達成に向けて意欲的に取り組むキャリア選択能力の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 組織的・計画的・系統的なキャリア教育の推進 2 生徒の自己理解に基づく進路実現の支援 3 進路情報の適時適切な提供 	<ol style="list-style-type: none"> 1 進路シラバスを軸とした組織的な進路指導により、キャリア教育力の向上が図れたか 2 スタディサプリ、ポートフォリオ、模擬試験や面談等を活用し、目標達成に向けた努力を支援することができたか 3 進路情報の教職員、生徒、保護者への提供は適切に行われたか
	健康・安全指導	心身の健康増進と安全意識の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 生命の尊厳を守り、心身ともに自立した生徒の育成 2 個々の特性に応じた特別支援教育の充実 3 危機管理能力の育成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 教科横断的な視点で、命の大切さ、自己の存在のかけがえのなさへの理解を深め、心身の健康増進を図れたか 2 配慮や支援が必要な生徒の状況把握と組織的な対応をもとに、互いに調和・協調できる環境づくりができたか 3 生徒の危機管理能力向上に資する教育活動が展開できたか

領域	対象	中期目標	今年度の重点目標	目標達成のための評価の観点
学校運営	信頼される学校づくり	教育活動に関わる情報提供と保護者、地域等との連携協力	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者や地域等と協働した教育活動の深化 2 本校の特色や魅力を捉えた戦略的な情報発信 3 生徒指導力・生徒支援力の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 保護者・地域と共創しながら、社会の一員としての自覚を育む教育活動を展開できたか 2 学校ホームページ等を通じて、本校の特色や魅力をタイムリーに発信し、保護者・地域等からの信頼・期待を高めることができたか 3 生徒一人ひとりの個性や背景を尊重し、発達段階や特性等に応じた生徒指導・生徒支援ができたか
	組織運営	学校課題の解決に向けた持続可能な組織体制の確立	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校経営方針に基づく業務遂行 2 教職員が互いに高め合う協働的な組織体制の構築 3 関係機関と連携した持続可能な教育活動の充実 	<ol style="list-style-type: none"> 1 学校課題の解決に向け、各分掌・学年が設定した評価指標に基づき、PDCAサイクルを回して効率的な業務遂行ができたか 2 教職員が互いに尊重し合い、生徒の粘り強い学びを支えるために協力して業務遂行できたか 3 地域の教育力を最大限に活用するとともに、地域社会と一体になって生徒の社会参画を促す教育活動を創造できたか
	教職員の資質向上	研修等による専門性と資質・能力の向上並びにコンプライアンスの確立	<ol style="list-style-type: none"> 1 生徒の資質・能力の向上に資する研修の充実 2 服務規律の保持に資する校内研修の充実 3 持続可能な教育活動を支える組織風土の醸成 	<ol style="list-style-type: none"> 1 「目指す教職員像」の実現や専門性の向上に向けて、教職員一人一人が不断の自己研さんに励んだか 2 教育公務員としての自覚を持ち、服務規律の保持に努めたか 3 ワークライフバランスを意識した働き方を実践し、心身の健康を保ちながら教育活動を展開できたか

鷹高GP：本校の「目指す生徒像」と「育成を目指す資質・能力（グラデュエーション・ポリシー）」

北海道鷹栖高等学校の生徒一人一人の「育成を目指す資質・能力（グラデュエーション・ポリシー）」を「鷹高GP」とし、次のように決めました。

目指す生徒像

変化の激しい社会の中で自分らしい生き方を実現する生徒

- 自ら課題を見出し、粘り強く考え抜き、主体的に未来を創造する生徒
- 多様な価値観を尊重し、他者との協調・協働を通してよりよい人間関係を築く生徒
- 自己理解を深め、心身ともに自立し、何事にも誠実に努力し続ける生徒
- 地域との関わりを大切に、社会の一員としての自覚を持って行動する生徒

育成を目指す資質・能力（グラデュエーション・ポリシー）

○ **各教科等において習得する知識や技能を相互に関連付け、多様な意見を尊重しながら主体的に判断し行動する力**

①知識・技能	各教科科目において習得する知識や技能であり、身体的技能や芸術表現のための技能等も含む
②傾聴力	相手の考えや意見を丁寧に聴く力
③行動力	自分の立場や役割を認識・判断して主体的に行動する力

○ **良好な人間関係を構築し、周囲と調和・協調しながら、困難な課題に対しても粘り強く最適解を導く力**

④コミュニケーション力	他者の意見を尊重しながら意志や思考を他者に伝達する力
⑤協調性	自分と異なる立場や考え方を持つ人たちと、同じ目標に向けて協力・行動しようとする気持ち
⑥レジリエンス	逆境やトラブル、挫折など困難な状況に置かれた際、傷つきながらもしなやかに受け止めて適応し、あきらめずに立ち直る力

○ **自己肯定感と自己理解を深め、目標達成や進路実現に向け継続してひたむきに努力する力**

⑦自己肯定感・自己有用感	他者や集団との関係で、自分の存在を価値のあるものとして受け止める感覚
⑧自己管理能力	自らの思考や感情を律する力や自らを研さんする力 （「やればできる」と考えて行動する力）
⑨勤勉性	社会から期待される活動を自発的に、習慣的に営む気持ち

○ **地域との関わりを大切に、社会課題を自分事として捉えながら、他者と協働してよりよい社会を創造する力**

⑩社会参画力	自分の立場や役割を認識して主体的に行動する力
⑪論理的思考力	正確な根拠に基づいて筋道を立てて自分の考えや意見を深める力
⑫創造力	新しい価値を生み出す力

教職員による支援

学校の教育活動

地域の支え